

千葉大学医学部附属病院血液内科で 同種造血幹細胞移植された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年2月6日

血液内科

血液内科では、同種造血幹細胞移植患者における乾燥組換え帯状疱疹ワクチンの有効性に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2017年1月1日～2021年12月31の間に、当院血液内科で
同種造血幹細胞移植を受けられた方

1. 研究課題名

「同種造血幹細胞移植患者における乾燥組換え帯状疱疹ワクチンの有効性についての後方視的解析」

2. 研究期間

2025年承認日～2025年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

同種造血幹細胞移植の後は、帯状疱疹の発症リスクが高いことが知られています。

近年、乾燥組換え帯状疱疹ワクチンが承認され、帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の方にも適応が拡大されております。本研究では、同種造血幹細胞移植を受けた方が、乾燥組換え帯状疱疹ワクチン接種の有無で、帯状疱疹の発症率に差が生じるかどうかについて、2017年1月1日～2021年12月31の間に、当院血液内科で同種造血幹細胞移植を受けられた方に対し2024年7月31日までの通常診療上で得られる患者情報を利用し検証します。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた情報は千葉大学血液研究室で解析がおこなわれます。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている病歴（年齢、性別、同種造血幹細胞移植を必要とした血液疾患名、ドナー情報、GVHD の有無、移植後帯状疱疹発症の有無など）、血液検査値（生化学検査、血液学的検査、帯状疱疹ウイルス抗体価など）、移植後のワクチン接種歴

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：血液内科 診療講師 竹田 勇輔

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院血液内において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

血液内科 診療講師 竹田 勇輔

043 (222) 7171 内線5259